

WINDING ROAD

I 学年リレー通信
文責 酒井 洋子
2020.5.27 (Wed)
第 23 号

やらされている？自ら学んでいる？意識を変えてみる

リレー通信がこんなに回るとは思いもしませんでした。発信する内容を考える時に、「教育」って何だろう？と、立ち戻って考える機会になりました。「だから私は、先生という職業を選んだんだ。」という地点に辿り着けました。ZOOM や YouTube など、動画での授業が主流になったら、子どもたちは全く学校に通わなくてもよくなる？ そんな世界は来るのでしょうか？

さて、今日のお話 ～

前回の”幸せってなんだっけ？”の続編です。

One child, one teacher, one book and one pen can change the world.
Education is the only solution. Education first.



これは、当時16歳のマララ・ユスフザイさんが2013年に国連本部で行ったスピーチのラスト部分です。彼女は『女の子なのに学校で学んでいるからと、命を狙われた』少女です。本も出版されています。スピーチの全文（英語・日本語ともに）がネットに載っていますので調べてみてください。

世界には、学びたいのに、知りたいのに、その機会が、その費用が、ない人たちがたくさんいるということ。ここにいる私たちは「しあわせ」なのです。その学びのチャンスを生かし切れていますか？

いま、あなたの手元に課題やテキストがたくさんあります。

- ◆プリントの空欄を埋めて、完了。
 - ◆数学の問題を解いたけれど、わからなくて赤ペンで答えを書き写して終了。
 - ◆英単語を読み方がわからないまま、日本語の意味を覚えた。
- だから、課題はすべて終わっている。提出もできる！



それで本当に完璧だろうか？

自分の知識になる、自分のためになる学習方法を見つけて！ 丸暗記が通用しなくなるのが高校の勉強です。

高校では、中学までの基礎的・基本的な知識をベースに、それを応用して、答えを導き出すことが求められます。さらに、これから求められる学力は、答えが一つではないもの、すでにある答えを“それってほんと？”と、一度打ち消してみる思考力です。単純で暗記の作業は、すべて AI が対応する世界がやってくる。人間ならではの能力を発揮して社会に巣立ってゆこう。あなたができるそれは何？

< 批判的思考力 (クリティカルシンキング) の練習問題 >

次の文章を読んで、予想を立てよう。その後、「ちょっとまてよ」と自分の意見に立ち止まってみよう。

カズキはうつむいていた。今日、野球の試合で4番打者だったカズキは、ホームランを放ちチームの勝利に貢献することができた。だが、カズキの顔は沈んでいる。彼の活躍は誰の目から見ても素晴らしいものであった。それだけにチームメイトはカズキの様子が不思議で、ただ試合後の部室で声をかけられずにいた。

質問：カズキはなぜ、沈んだ顔をしているのだろうか？（予想）

()

批判的思考：「ちょっと待てよ、もしかしたら、() かもしれない。

一つにとどまらず、2つ、3つ考えられるだろうか。『柔らかアタマ』が必要です。

